

## 平成30年度後期学校評価アンケート結果のお知らせ

### 学校教育目標 心やさしく 心身ともに たくましい子の育成

思いやりのある心やさしい子ども  
自分で考え、判断し、行動できる子ども  
仲間と力を合わせてがんばる子ども  
目標をもって粘り強く取り組む子ども

学校の梅の花も咲き始め、春の訪れを感じられるころとなりました。保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも本校教育推進のためにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

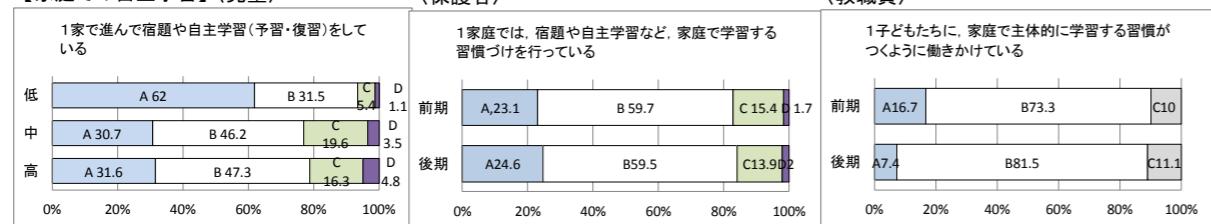
さて、今年度12月に実施しました後期学校評価アンケートの集計結果について、お知らせいたします。

【実現度】 A…よくできている B…大体できている C…あまりできていない D…できていない

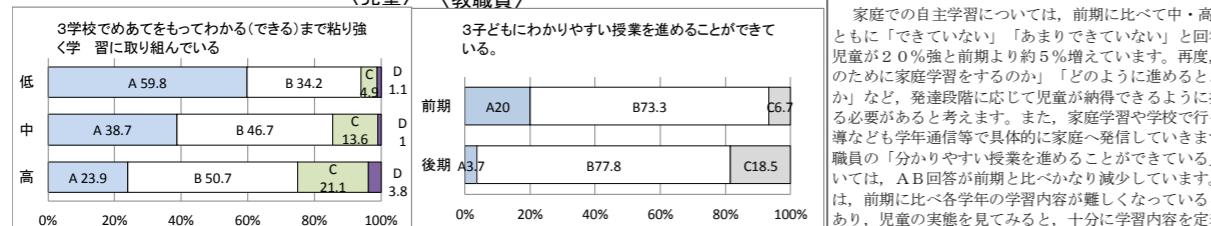
◇ 低…低学年（1・2年生） 中…中学年（3・4年生） 高…高学年（5・6年生）

#### 1 確かな学力

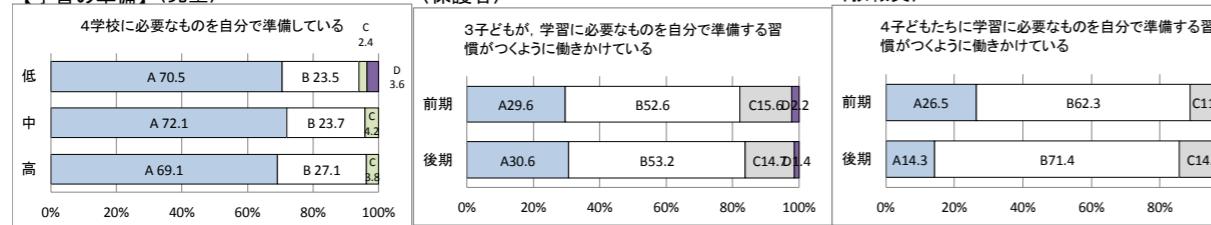
##### 【家庭での自主学習】〈児童〉



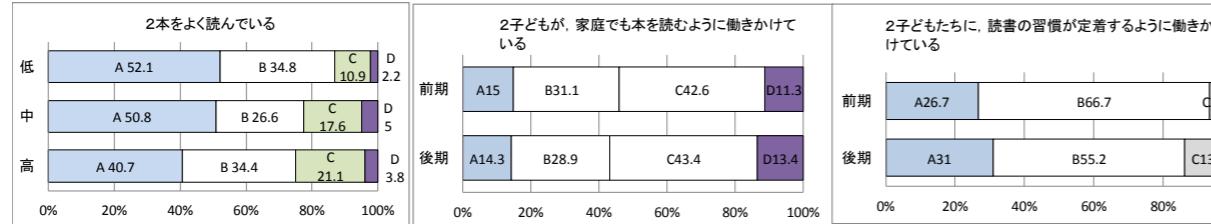
##### 【めあてをもって粘り強く学習に取り組む】〈児童〉



##### 【学習の準備】〈児童〉



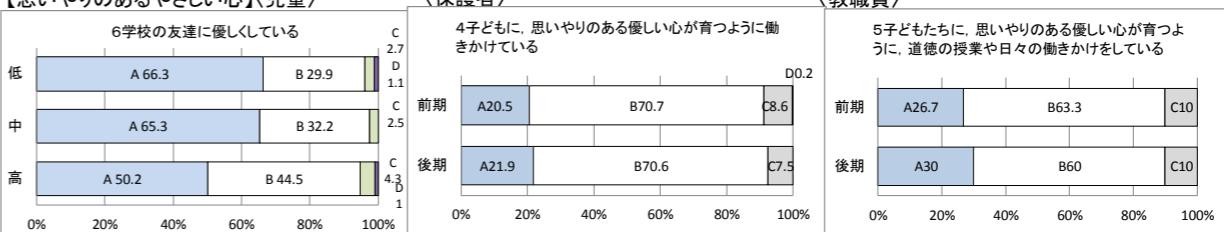
##### 【読書の習慣】〈児童〉



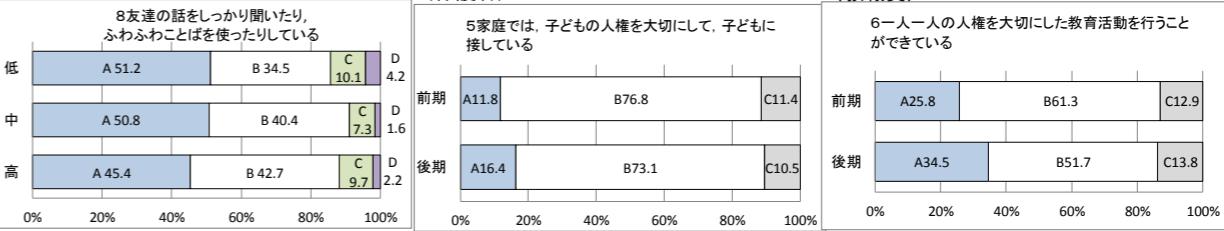
「本をよく読んでいる」については、「よくできている」「できている」と回答した児童が、前期に比べて低学年で5.5ポイント、中学年で3.4ポイント、高学年では0.4ポイント減っています。また、保護者、教職員の「よくできている」「できている」の回答も前期と比べ減っています。このことから、児童・保護者・教職員とも「読書が十分でない」と感じていることが伺えます。今年度は、見やすく本を配列したり、本棚を増設して蔵書の幅を広げたりと、学校図書館を改造したので、今後さらに様々な学習で意識的に図書館を利用していくたいと思います。また、現在行っております毎日の朝読書を充実させるとともに、「多読につながる授業」「読書ノートの活用」「読書意欲を高める図書紹介」「読書週間の取組の工夫」など、図書館利用を促すための取組を、学校司書と連携しながら今後も継続して進めていきます。また、家庭での読書習慣の定着については、今後、図書ボランティアの方々と協力しながら、家庭での読書にお薦めの本の紹介等をしていきたいと思います。

#### 2 豊かな心

##### 【思いやりのあるやさしい心】〈児童〉



##### 【人権を大切にした教育】〈児童〉



保護者・教職員の「思いやりのある優しい心が育つような働きかけ」「子どもの人権を大切にして接する」については共に「よくできている」の割合が増えています。「友だちにやさしくしている」「友だちの話をしっかり聞いたり、ふわふわ言葉を使ったりしている」では、前期と比べ「あまりできていない」「できていない」の割合が増えています。2学期になり学級にも慣れて、友だとの間わりが増え、様々な友だちと間わり合うようになったこと、頭ではふわふわ言葉が大事だと分かっていても、ついいつきつい言葉が出てしまったり、優しくできなかつたりするのではないかと考えられます。今年度から道徳が特別の教科になると、学校便り、学年便り等で日々の取組を発信していることで、保護者・教職員共に人権を大切にする意識が高まったのではないかと考えられます。今後も、自己実現の場を増やし、自己肯定感をさらに高めていくことができるよう、全ての子どもが分かった・できたと思える授業づくりに努めていきたいと思います。更に、互いの違いを認め合う指導の継続、児童理解を深めることで、どんな友だちも仲良く生活していくことができるようになっていきたいと考えます。保護者・教職員においては、自らの言動が周囲に及ぼす影響を想像する力を養い、自らの人権意識を高めていくことが大切であると考えます。

##### 【結果の考察及び改善策】

